野生鳥獣による農作物被害の発生状況について

○令和７年度の野生鳥獣による農作物被害額は、103,347千円となりました。
○令和７年度は、ブナの実など山の堅果類が凶作であったことなどからツキノワグマの出没が増加し、被害金額は大幅に増加しました。また、イノシシ、サル、カラス、ニホンジカの被害金額も前年と比較して増加しています。
○作目別では、果樹の被害が全体の約６割を占め、次いで水稲、野菜と続いています。
○近年、イノシシやニホンジカの目撃情報が増加しています。県としては、鳥獣被害防止対策研修会を開催する他、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し各市町村の鳥獣害対策を支援します。

農作物被害額（秋田県）　（千円）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
ツキノワグマ	10,985	11,588	11,348	3,566	128,023	3,702	67,016
サル	5,179	2,854	4,609	2,151	2,589	1,669	5,960
カラス	6,725	6,423	6,811	7,032	12,379	6,020	12,905
イノシシ	1,175	2,719	4,106	3,506	9,513	6,107	7,891
ニホンジカ	125	494	394	853	211	13	413
その他	5,429	5,978	6,875	6,026	13,936	1,972	9,162
合　計	29,618	30,056	34,143	23,134	166,651	19,483	103,347



